南博人追悼山行（谷川岳）

参加者　３１名
（南家４名）　南 京子、南 恵美子、南 覚史、南 栄治
（雲稜会関係２７名）武藤 正、藤 芳泰、石橋 侯男、高橋 寿夫、小池 正春、橋本 勝、八木 義之、古屋 茂紀、鈴木 忠雄、横山 忠明、荻原 公、佐々木 邦雄、河野 通晴、二宮 勝男、加藤 隆一、大野 清、石倉 丈夫、前田 惠久、秋山 由華、藤田 弘光、斎藤 昌純、瀧濱 真人、坂本 耕三、原 顕子、篠崎 さやか、加藤 智彦、平井 大介
（幹事)橋本、荻原、加藤（隆）

期間　２０１９年6月１５日（土）～１６日（日）

６月１５日（土）雨
谷川岳ロープウェイ駅９：００　天神平９：３０～１１：００　谷川岳ロープウェイ駅１１：３０
谷川温泉「たにがわ」１３：３０　谷川温泉「たにがわ」全員集合１７：００
南博人追悼山行前夜会１８：００～２０：００　カラオケ大会２０：３０～２２：００
　谷川岳ロープウェイ駅に、集合時間９時に集合したメンバーは、南家４名（南家は１４日から谷川温泉「たにがわ」に宿泊している）、雲稜会５名（河野、二宮、加藤、石倉、前田）の計９名だ。他のメンバーは、夕方４時までに谷川温泉「たにがわ」へ直行との連絡が入る。また現役会員ら９名（秋山 由華、藤田 弘光、斎藤 昌純、瀧濱 真人、坂本 耕三、原 顕子、篠崎 さやか、加藤 智彦、平井 大介）は東京のクライミングジムにて練習後、谷川温泉「たにがわ」へ直行との連絡が入る。
　南家４名と雲稜会３名（加藤、石倉、前田）計７名がとりあえず、ロープウェイで天神平まで行き、谷川岳へ登れるか様子を見ることにする。河野、二宮は、下で待機するとのこと。
　天神平にて様子を見るが一面ガスの中である。近日中にまた来る予定という会友・石倉が一人、様子を見ながら谷川岳への登山に出掛ける（雪渓の出たあたりで引き返したとのこと）。

（ロープウェイの天神平駅にて）

（谷川岳へ行く会友・石倉）

　会友・石倉を見送った後、レストランにてコーヒーを頂きながらおしゃべりで過ごす。その後ロープウェイで下山する。

その後谷川岳ロープウェイ駅に迎えに来てくれた橋本の車で、谷川温泉「たにがわ」へ向う。

谷川温泉「たにがわ」には、橋本と荻原が先に着いており、部屋割り、会場設営や受付の設置などを既に行っており、準備完了である。

夕方１７時過ぎに、南家、ＯＢ会員、会友、現役会員の計３１名の参加予定者全員が谷川温泉「たにがわ」に、無事集合する。

１８時より「たにがわ」大広間にて「南博人追悼山行前夜会」に入る。

荻原司会で、黙祷、東京雲稜会代表・藤田さんの挨拶、南家代表・南京子さんの挨拶、ＯＢ代表・武藤さんの献杯の音頭にて宴会となる。

（前夜会の会場）

（南さんの遺影を飾る）

（黙祷）

（藤田代表の挨拶）

（南家代表・南京子さんの挨拶）

（武藤さんの献杯の音頭）

この後、南さんを偲んで、各位から賑やかにスピーチなどを頂戴する。

また、橋本さんからカムチャツカ遠征の時の南夫妻の記念写真の贈呈が行われる。

（橋本さんより南京子さんへ写真の贈呈）

（司会の荻原さん）

（宴会最後に全員での記念撮影）

この後、同会場にてカラオケ大会となる。今回はノリノリの現役会員に圧倒される。

（この二人は特に頑張りました）

（会友・石倉も頑張りました）

６月１６日（曇時々雨）
谷川温泉「たにがわ」８：３０　谷川岳ロープウェイ駅９：２０（電気バス組は９：３０発）
マチガ沢出合９：５０　一ノ倉沢出合にて「南博人追悼会」１０：３０～１１：００
谷川岳ロープウェイ駅・解散１２：００
　朝食後、谷川温泉「たにがわ」を出発し、全員、車に分乗して谷川岳ロープウェイ駅に向かう。谷川岳ロープウェイ駅から、南家の女性陣、雲稜ＯＢ長老達と付き添いの前田の計８名が電気バスに乗る。他は、徒歩にて雨具を着け一ノ倉沢出合いへ向かう。

（谷川温泉「たにがわ」より二俣方向を望む）

（電気バスに追い抜かれる）

マチガ沢を過ぎるあたりで、雨が止み明るくなる。

（マチガ沢から谷川岳上部の眺め）

（マチガ沢出合のマムシ岩にて）

　一ノ倉沢出合に、全員集合したところで、「南博人追悼会」を行う。
　出合に祭壇をつくり、それを囲んで衝立岩を見上げ、黙祷を捧げる。またＯＢ・藤さんから、衝立岩初登攀時の苦労話などのお言葉を頂き、全員で記念撮影を行う。

（一ノ倉沢出合いに祭壇をつくる）

（みんな集合し、黙祷を捧げる）

南　博人　　追悼山行　　一ノ倉沢　出合にて　　2019年6月16日(日)　撮影　橋本　勝

この後、山岳資料館に立ち寄り、昔の登山用具などを店番の馬場さんからご説明頂く。

（山岳資料館に立ち寄る）

（小池さん寄贈のキスリング）

（「渋谷みなみ」刻印カラビナ）

谷川岳ロープウェイ駅に戻り、ここで無事解散となる。

（以上）